



認定こども園  
五所川原こども園  
TEL 0173  
34-2654

聖句 主はわたしたちを造られた。 (詩編 100:3)

主題 見つける

- 月のねがい
- 1、友だちと一緒に賛美し、礼拝をする喜びを感じる
  - 2、繰り返し好きな遊びをすると共に友だちの遊びに引き込まれながら楽しさを感じ、気づきや心もちが様々な形で表される
  - 3、様々ないのちの不思議さに関心を持ち、絵本や保護者、地域の方との交わりなどを通して興味が深まる

「知れ、主こそ神であると。主はわたしたちを造られた。わたしたちは主のもの、その民、主に養われる羊の群れ。」(詩編 100:3) 今月の聖句はこの詩編の節の一部ですが、わたしの持ち主がはっきり示されています。「私たちは主のもの」と。イスラエルの民が、創造主である唯一の神さまへの賛美と感謝を、神殿の庭で喜び叫びつつささげた際の歌の中の一節です。そして人間と神さまとのことを、羊と羊飼いの関係にたとえることが身近ではない地域、時代に住む私たちに対しても、詩編の詩人は呼びかけているのです。この歌の冒頭は、「全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ」であるからです。世界中すべての者は神さまによって造られた存在であることが「全地よ」で表明され、感謝が求められています。月の聖句の御言葉の直前に、「知れ、主こそ神であると」とあります。大人がそう言われたとしたら、様々な思いや理屈などが邪魔して神さまを知ることが阻みそうですが、子どもは主がおっしゃったように「神の国を受け入れる人」であり、いつの間にか神さまを知っていること、神さまとの関係性が出来ていることを、日々ちょっとした場面から感じられるのではないのでしょうか。子どもは神さまを知っていると知られることは実に多いものです。そもそも、私たちが懸命に神さまを知ろうと努力する前に神さまの方が私たちのことを何もかも知っておられます。なぜかと言うと「わたしたちを造られた方」だからです。私が神さまを知るより先に、造り主である神さまは、私たちのことをすべてご存じなのです。造り主を知り、その愛に包まれつつ、人の評価から解放されて愛を放つ存在のように、子どもたちが育てて欲しいものです。自分は神さまによって造られ、愛されている「神さまのもの」だということを子どもたちに伝えていきたいものです。

### 6月の予定

- 3日(土) 観閲式参加 (ひまわり組)
- 9日(金) 花の日の礼拝
- 14日(水) 消防署訪問 (ちゅうりっぷ・ひまわり組)
- 21日(水) 総合避難訓練
- 24日(土) 親子バス遠足
- 28日(水) お誕生会 職員会議

※7月8日(土) 夏まつり

場所:園庭 時間:9時30分~11時まで  
・父母のみの参加になります。

雨天の場合は、園内で行います。その場合父か母、お一人の参加になりますのでご協力をお願い致します。

### <花の日の由来>

1856年にアメリカのレオナード牧師が、子ども達が信仰生活に入るために、また、その両親が子どもを神に捧げる日として6月第2日曜日に特別礼拝を持ったのが最初です。その後、1870年に、マサチューセッツ州ローエル市の牧師が「シャロンのバラの日」と名付けて、子ども達が花のようにすくすくと育つことを願って祝福し祈り、花を子ども達に手渡して礼拝を守ったことから、この日を「花の日・こどもの日」としてキリスト教の教会で守られ、次第に幼稚園・保育園・学校で守られるようになりました。

### <ねらい>

- ・神さまや人々から愛されていることを知り感謝する。
- ・花の美しさに気づき、大切に扱う。
- ・花も人も神さまから与えられて成長していることに気づく。

※9日の朝、お庭に咲いているお花を少し持って来て下さるようお願い致します。持ち寄ったお花を礼拝堂に飾り、感謝の礼拝を捧げます。



各クラスでお花や野菜の種、苗を植えました。ミニトマト、ミニきゅうり、なす、オクラ、ひまわり等いろいろです。毎日、自分のクラスで植えた苗に水やりをして生長を楽しみにしています。クラスだよりやブログをお楽しみに。。



### <子ども達の安全の確保についての取り組み>

5月9日(火) エルムの街交番の警察官、2名が園に来て下さり、横断歩道の渡り方、信号の見方、交通安全について教えて下さいました。こども園では、お天気の良い日は散歩に出かけています。安全に安心して散歩が出来るように、毎月1回散歩コースの点検を行っています。



☆育児休暇をとっていた野呂由貴先生は、6月5日(月)から復帰します。

